

サツマイモの植え付け

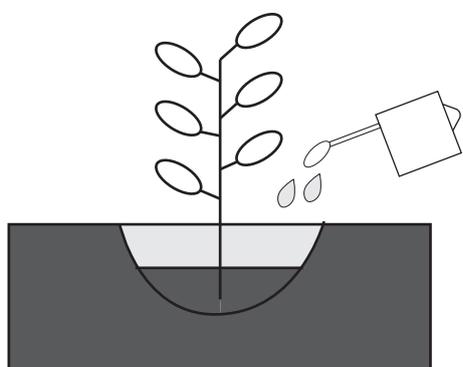
作業時期：6月ごろ



★苗床で苗の準備

あらかじめ苗床で苗を育てておく。

苗は苗床から引き抜かず、根元を残して切り取る。苗床に残った株から再びつるが伸びて、新たな苗ができる。



★マルチングシートの設置

雑草を取った後に、土の上にマルチングシートをかぶせる。端を土で埋めて固定する。

★苗の植え付け

①土に苗を刺し、ぎゅっと手で土を押さえて安定させる。

※先端の若い芽が土に埋まらないように注意！

30 cm間隔で植えていく。

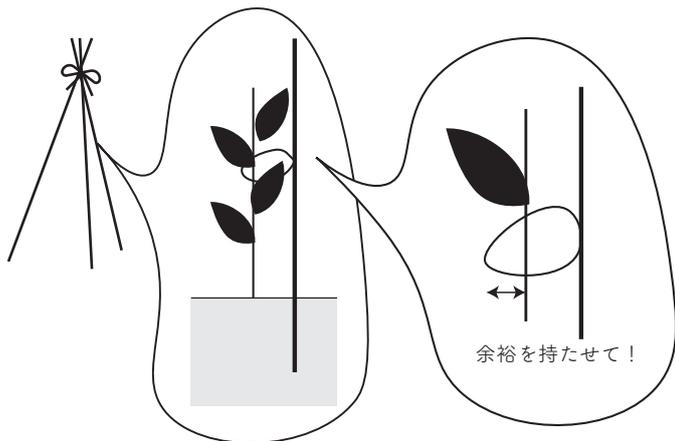
②土が押し込まれて沈んだ分だけ水を入れる。これにより隙間に泥水が入り、土と苗が密着する！



芽かきと支柱立て



トマトは螺旋状に支柱に巻き付ける



★トマト：

- ①主軸のみを残して脇芽を取る
- ※脇芽に実がなっても気にせず芽かきする
- ②支柱を3本組み合わせて立てる
- ③主軸を支柱に螺旋状に巻き付けて紐で結ぶ
- ④地面に触れている葉は取り除く

※収穫：鋏を使うと菌が入るので、手で摘み取る。色づいてきたら収穫してOK！室内で置いておけば追熟する。

※伸びた茎から白い根がでてくる場合がある。この時は茎を取り外し、20cm程度根元を埋めれば根付く。埋まる所の茎と葉は取り除く。

★ズッキーニ：

古い葉は病気を防ぐために取り除く。

※地面と平行な方向に勢いよくポキンと折るときれいに取れる！

★ピーマン：

- ①茎を3本残して間引きする
- ②支柱を3本立てる
- ③支柱に紐で結ぶ



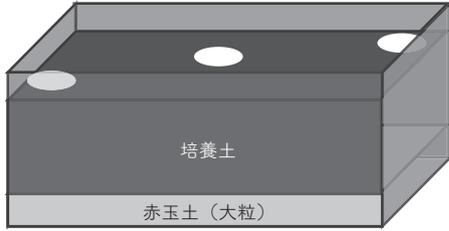
茎から伸びた根



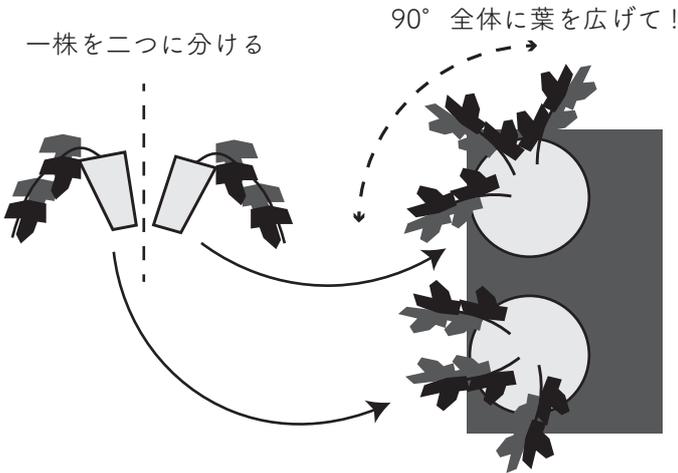
ピーマンを支柱で支える

夏野菜のプランター植え付け

夏野菜の寄せ植えプランターの植え付け（アイビー・モロヘイヤ・つるむらさき） 作業時期：6月ごろ



できるだけ距離を放して植える



プランターに植えられたと苗に認識させたい！



準備するもの：

プランター・鉢底ネット・赤玉土・培養土・バーク堆肥・移植ごて・ゴム手袋又は軍手・苗・支柱（必要な場合）

手順とポイント

①プランターの底にネットを敷き、赤玉土（大粒）、培養土を入れる。水やりをしてかさが減るので、培養土はできるだけ多めに。

★1:プランターの底に軽石ではなく赤玉土（大粒）を使うことで、植替えの時に軽石を分類せず、混ぜ込んで土を再利用できる。鉢底に空気を取り込むために軽石や大粒の赤玉土を入れる。

②プランターの真ん中・両端の3か所に穴をあける。

★2:プランターの中でそれぞれの苗ができるだけ大きなスペースがとれるよう、真ん中と両端に植えます。

★3:今回の組み合わせでは、モロヘイヤ・つるむらさきを真ん中、アイビーを両端に植える

③アイビーは1株を2つに分け、90度全体に葉を広げて外に流れるようにして、端に植える（絡まらずに綺麗に育つ）

★黄色くなっている葉は取り除く

④苗を手に取り優しく植え、土を富士山型にかぶせて土の中に押し込む。

★4:プランターに植え替えられた！と認識できるように、最後にぎゅっと押し入れて、ポットの中とは違って大きく育てるよ！と苗に教えてあげるのが植え付けのポイント！

⑤バーク堆肥を使いマルチングする。暑さ3cmくらいが目安。保湿効果がある（農家さんが藁でやるのと同じ）

★5:マルチングは3週間に1度のペースで繰り返し行うと良い！

★モロヘイヤは伸びたら脇芽を残して収穫すると繰り返し収穫できる！

★アイビーは葉が地面につく長さになったら、下葉を取り除き水に差しておくで根が生えてくるので、移植できる

★植え替えるとき、根が強いアイビーは一度抜いて根を切り取ってから植えなおす！

★アイビーは低い場所、つるむらさきは高い場所、モロヘイヤはその中間の高さで育つのでけんかしない